

Tohoku University Centenary

INTERNATIONAL PERSPECTIVES  
ON  
GENDER EQUALITY  
AND SOCIAL DIVERSITY

---

東北大学創立 100 周年記念事業

国際シンポジウム

ジェンダー平等と  
社会的多様性をめぐる国際的展望

2007 年 7 月 29 日・30 日・31 日

於 仙台国際センター

主催

東北大学 21 世紀 COE プログラム「男女共同参画社会の法と政策」

ジェンダー法・政策研究センター



シンポジウム案内

---

(2007 年 4 月現在)



## 目次

1. 趣旨
2. 開催要領
3. タイムテーブルおよび報告者(予定)
4. 事前参加申込について
5. 会場案内
6. 報告原稿および出版について
7. その他

## 1. 趣旨

世界各国でジェンダー平等にむけたさまざまな取組がなされていますが、なお男女共同参画実現の課題は多いのが現状です。そこで本シンポジウムでは、ヨーロッパ、アメリカ、アジアなどの諸国における男女共同参画促進のための理論と政策を概観し、21世紀の多様性のなかで男女共同参画社会を実現するための理論的・政策的課題を明らかにすることを目的とします。

21世紀 COE プログラムの研究成果の総括ともいえるこのシンポジウムでは、ジェンダー法学・政治学を中心とした広範な比較の視座に立って、理論と政策とを架橋することにより、これらの諸課題を解明するための有益な成果を得たいと考えています。

## 2. 開催要領

日 時 2007年7月29日(日)～31日(火)

場 所 仙台国際センター  
〒980-0856  
宮城県仙台市青葉区青葉山(無番地)  
Tel:022-265-2211(代) Fax:022-265-2485  
(<http://www.sira.or.jp/icenter/>)



### 3. タイムテーブルおよび報告者(予定)

#### 第1日 7月29日・日曜日 仙台国際センター2階 大会議室「橋」

- 開会式 14時  
開会挨拶 辻村みよ子 (東北大学大学院法学研究科教授・21世紀COEプログラム「男女共同参画社会の法と政策」拠点リーダー)  
来賓挨拶 井上明久 (東北大学学長)  
村井嘉浩 (宮城県知事)  
山下泰子 (文京学院大学教授、ジェンダー法学会理事長)

#### 基調報告 14時30分-17時30分

##### 報告

キャサリン・A・マッキノン Catharine A. MacKinnon

(米国ミシガン大学教授 ジェンダー法学)

朱曉青 (中国・社会科学院法律研究所教授 国際人権法)

上野千鶴子 (東京大学教授 社会学・ジェンダー学)

##### コメント

角田由紀子 (弁護士)

歓迎レセプション 18時 - 20時 (国際センター内レストラン ラ・フォーレ)

#### 第2日 7月30日・月曜日 仙台国際センター2階 大会議室「橋」

#### 第一分科会「公的領域のジェンダー平等」9時-12時

##### 報告

マリリーサ・ダミーコ Marilisa D'Amico (伊・ミラノ大学教授・比較憲法)

キンバリー・クレンショー Kimberlé Crenshaw

(米・コロンビア大学教授 ジェンダー法学)

サンドラ・ウィットワース Sandra Whitworth

(加・ヨーク大学教授・国際関係論)

##### コメント

土佐弘之 (神戸大学教授)ほか数名を予定しています。



## 第二分科会「私的領域のジェンダー平等」14時-17時

### 報告

ナタリー・デ＝ロズィエ **Nathalie Des Rosiers** (加・オタワ大学法学部長・民法)  
スーザン・エンメネッガー **Susan Emmenegger** (スイス・ベルン大学教授・民法)  
レナ・ガナジェ **Léna Gannagé** (仏・パリ第二大学教授・民法)

### コメント

各報告者に対応するかたちで3名の日本人参加者がコメントの予定です。

**最終日 7月31日・火曜日 仙台国際センター 大会議室「橘」**

## 最終日基調講演 9時-12時

### 報告

キム・ソンウク (韓国・前法制処大臣・梨花女子大学教授・ジェンダー法学)  
猪口邦子 (衆議院議員・前内閣府特命担当大臣〔少子化・男女共同参画担当〕国際関係論)

### コメント

浅倉むつ子 (早稲田大学教授)

閉会式

閉会挨拶 稲葉 馨 (東北大学大学院法学研究科長) ほか

**全日程・英日同時通訳がつきます**



## 4. 事前参加申込について

- \* 本シンポジウムは入場無料ですが、事前に参加申込をお願いしております。会場の都合上、各セッション定員 200 名様までとさせていただきます。
- \* 申込は、専用の用紙にて承ります。用紙は、東北大学ジェンダー法・政策研究センターウェブページよりダウンロードが可能です。用紙に必要事項をご記入の上、COE 支援室宛 Fax でお送りいただくか、COE シンポジウム事務局専用 Email アドレス（裏表紙に記載）宛て、電子ファイルへ添付してご返送下さい。**なお、メールで申込の際は、件名を「シンポジウム申込」とご設定ください。**
- \* 参加申込にあたって頂戴した個人情報は、シンポジウム業務に必要な範囲での他では、使用・第三者への譲渡をいたしません。会議終了後は破棄いたします。

## 5. 会場案内

### 会場へのアクセス

JR 仙台駅から

① 仙台市営バス

駅前ターミナル 9 番乗り場より

710(宮教大・青葉台ゆき), 713(宮教大・成田山ゆき),

715(宮教大ゆき), 719 番(青葉通、理・工学部方面動物公園循環線)

系統のバスにて 10 分。「博物館・国際センター前」下車。料金 180 円。

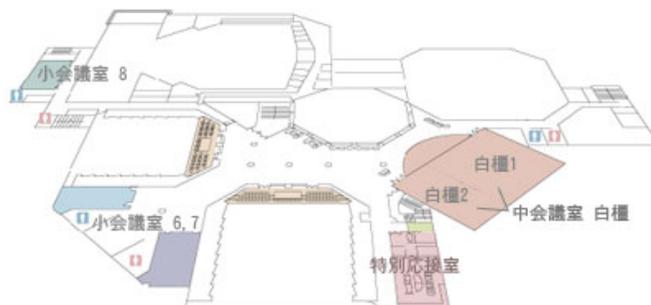
② タクシー(約 7 分)

お願い: 国際センターには地下駐車場(96 台)がございますが、有料です。

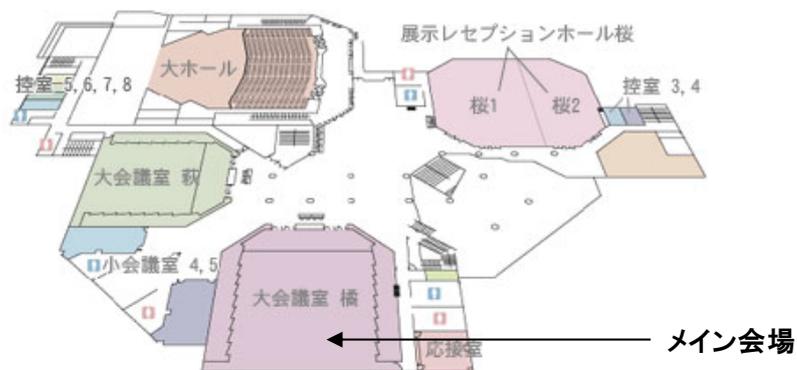
シンポジウムへは、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

**会場マップ（仙台国際センターWeb ページより）**

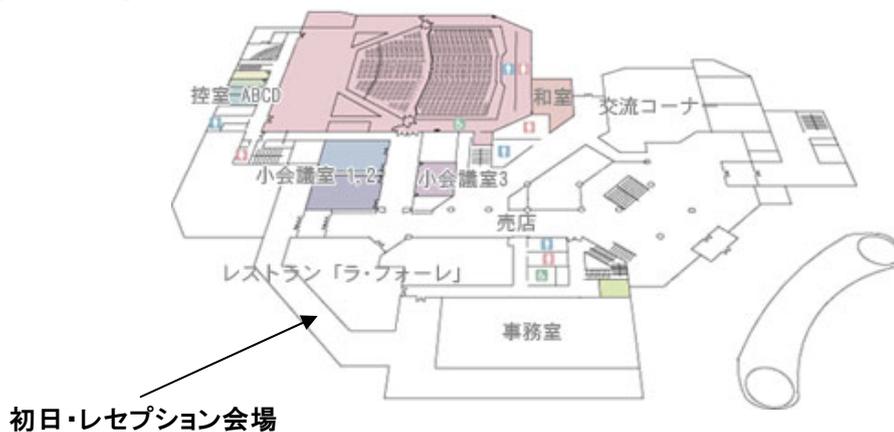
【仙台国際センター・3階】



【同・2階】



【同・1階】



\* 国際センター内の全部屋には、インターネット接続用コンセントがございます。ただし、報告者・コメンテーター・スタッフの使用を優先いたしますのでご了承下さい。なお、コンセントとPCをつなぐケーブルについては、参加者が各自でお持ち下さい。



## 6. 報告原稿および出版について

- \* 各報告者には、事前に報告原稿をご用意頂きます。
- \* 報告者より提出のあった後、COE サイドで、日本語版（オリジナル原稿が英語の場合）或いは英語版（同・日本語の場合）での翻訳原稿を作成します。シンポジウム時には、双方の言語による原稿をご用意いたします。
- \* シンポジウム開催後、各報告原稿は、次のようなかたちで公刊を予定しています。
  1. ジェンダー法・政策研究叢書・第 11 巻『世界のジェンダー政策－理論と実践』（東北大学出版会、2008 年 1 月予定）
  2. 同・別巻（英語での出版）
  3. ジェンダー法・政策研究センター『研究年報』第 5 号（2008 年 3 月予定）
  4. 同・『Annual Review』第 5 号（2008 年 3 月予定）

## 7. その他

### 7-1 体にご不自由な方のアクセス

仙台駅、駅前バスターミナル、仙台国際センターは、ともに、体にご不自由な方をお迎えするアクセスを設けてございます。事前にご質問などがございましたら、シンポジウム事務局までお知らせ下さい。

### 7-2 仙台市内でのお食事

仙台国際センターより、周辺のランチ・マップが提供されておりますので、そちらをご覧ください。

(<http://www.sira.or.jp/icenter/lunchmap.html>)

### 7-3 託児

シンポジウム期間中、託児（有料。1 歳 6 ヶ月から）をお引き受けします。ご希望の方はシンポジウム参加申込の際に、あわせてお伝え下さい。なお、人数に限りがございますので、あらかじめご承知おき願います。



会場までのマップ（仙台国際センターWeb ページより）



Memo



東北大学 21 世紀 COE プログラム「男女共同参画社会の法と政策」

ジェンダー法・政策研究センター

国際シンポジウム事務局・専用 Email アドレス [symposium2007@law.tohoku.ac.jp](mailto:symposium2007@law.tohoku.ac.jp)

センターホームページ <http://www.law.tohoku.ac.jp/COE/>

【COE 支援室】 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学 大学院法学研究科内

Tel: 022-795-3740

【学外拠点】 〒980-6119 仙台市青葉区中央 1-3-1 アエルビル 19 階

Tel: 022-723-1965

Fax: 022-723-1966

TOHOKU UNIVERSITY, CREATING GLOBAL EXCELLENCE.

— 東北大学は世界最高水準の教育・研究を創造します。 —